

瑞 監 発 第 2 9 号
令和 4 年 1 1 月 2 2 日

瑞穂町議会議長
古 宮 郁 夫 様

瑞穂町監査委員 村 山 隆 敏
同 榎 本 義 輝

定期監査結果報告書

地方自治法第199条第4項の規定に基づき定期監査を実施した結果
を下記のとおり報告します。

記

実 施 期 日 令和 4 年 1 1 月 1 6 日 (水)
1 1 月 1 7 日 (木)

場 所 瑞穂町議会委員会室

関係者立会人 瑞穂町会計管理者 池田 朋代

監 査 の 目 的 令和 4 年度一般会計、特別会計及び下水道事業会計の事
務事業執行状況が適正かつ効率的に行われているか監査
を実施。

監 査 の 対 象 全課 (局・館) の所掌する財務及び事務

瑞 監 発 第 2 9 号
令和 4 年 1 1 月 2 2 日

瑞穂町長
杉 浦 裕 之 様

瑞穂町監査委員 村 山 隆 敏
同 榎 本 義 輝

定期監査結果報告書

地方自治法第 1 9 9 条第 4 項の規定に基づき定期監査を実施した結果
を下記のとおり報告します。

記

実 施 期 日 令和 4 年 1 1 月 1 6 日 (水)
1 1 月 1 7 日 (木)

場 所 瑞穂町議会委員会室

関係者立会人 瑞穂町会計管理者 池田 朋代

監 査 の 目 的 令和 4 年度一般会計、特別会計及び下水道事業会計の事
務事業執行状況が適正かつ効率的に行われているか監査
を実施。

監 査 の 対 象 全課 (局・館) の所掌する財務及び事務

瑞 監 発 第 2 9 号
令和 4 年 1 1 月 2 2 日

瑞穂町教育委員会
教育長 鳥 海 俊 身 様

瑞穂町監査委員 村 山 隆 敏
同 榎 本 義 輝

定期監査結果報告書

地方自治法第 1 9 9 条第 4 項の規定に基づき定期監査を実施した結果
を下記のとおり報告します。

記

実 施 期 日 令和 4 年 1 1 月 1 6 日 (水)
1 1 月 1 7 日 (木)

場 所 瑞穂町議会委員会室

関係者立会人 瑞穂町会計管理者 池田 朋代

監 査 の 目 的 令和 4 年度一般会計、特別会計及び下水道事業会計の事
務事業執行状況が適正かつ効率的に行われているか監査
を実施。

監 査 の 対 象 全課 (局・館) の所掌する財務及び事務

監査方法

各課（局・館）より事前に提出された調査票に基づき、所掌する財務及び事務事業の執行状況について下記のとおりヒアリング調査を実施した。

11月16日（水）

監査時間	主管課	監査時間	主管課
8:40～9:20	住民課	13:00～13:38	デジタル推進課
9:22～10:05	税務課	13:41～14:10	総務課
10:16～10:57	環境課	14:14～15:09	財政課
11:03～11:58	企画政策課	15:18～15:59	学校教育課
11:59～12:09	会計課	16:01～16:39	教育指導課
		16:40～17:11	社会教育課

11月17日（木）

監査時間	主管課	監査時間	主管課
8:42～9:43	高齢者福祉課	13:00～13:49	産業経済課
9:44～10:22	福祉課	13:54～14:30	協働推進課
10:34～11:17	子育て応援課	14:32～15:08	安全・安心課
11:18～11:45	図書館	15:15～16:10	都市計画課
11:47～12:17	健康課	16:13～16:42	建設課
		16:46～17:14	下水道課
		17:15～17:27	議会事務局

監査結果

令和4年度一般会計、特別会計及び下水道事業会計の財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理について、地方自治法第199条第4項の規定に基づき、定期監査を実施した結果、各課の所掌する事項については、適正かつ効率的に行われており、良好な執行及び管理がなされていると判断した。

なお、令和4年度から住民との協働によるまちづくりをさらに進めるため、新たに協働推進部を設置するなどの組織改編を行った。デジタル推進課も新設され、今後ICTの活用やDXの推進による利便性の向上、時代の変化に対する柔軟な対応を期待する。

令和2年から流行している新型コロナウイルス感染症対応については、有症状者に対する抗原定性検査キットの無料配付や自宅療養者への食糧支援等、住民の不安を緩和する事業を行ったことは評価できる。町内の医療機関と協力して集団接種会場1か所と個別接種会場5か所を確保し、接種体制を構築してきたことも評価したい。今後も着実に接種事業を進め、接種希望者を一人も取り残さない体制整備に期待する。

また、燃料・資源価格の高騰や急速な円安によって、物価上昇が相次いでおり、暮らしに大きな影響が出ている。子どもたちの昼食費の家計負担を抑制する施策、又、農家や中小企業者及び福祉系事業所に対する燃料費高騰臨時支援等を実施し、負担の軽減を図っている。これからのアフターコロナ、地域経済の活性化のきっかけとなるような施策の展開も期待したい。

地域公共交通に関しては、多摩都市モノレール延伸計画等に関する都市計画素案説明会が10月に開催された。モノレールの延伸計画に沿って、まちづくりを着実に推進していくことを望む。また、令和3年10月から2年間にわたるコミュニティバスの実証実験を継続している。利用者アンケートでは60歳以上の利用者が70%を占めており、自由意見では運賃に関する意見が多く出ている。利用実態の検証を繰り返し行い、便利で快適に暮らせる町の実現を目指してほしい。

図書館の改修工事が完了し、3月22日にリニューアルオープンした。新たにWi-Fi環境の整備や農業についてのデータベース検索ができるルーラル電子図書館の無償提供を開始。さらに、町内の高齢者や障がい者等の来館が困難な人を対象にした図書館の宅配サービスも実施し、誰でも使いやすく、安全で親しみやすい施設となり、町民の交流と探求心を育む空間となっていることは評価できる。

最後に、社会情勢の変化が目まぐるしい状況となっているが、自主財源の創出と確保に努めるとともに、各種施策の優先順位付けと効率的な執行に向けて創意工夫を並行して行うことが期待される。また、より効果的な広報活動を研究し、町の魅力を余すことなく発信することを期待する。今後も住民が安心して生活ができるよう、より質の高い行政サービスが提供されることを望む。

以上